

≪今週号の主な内容≫

■先週・今週の報道発表

今週の RPPC に関連する発表は、特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度リサイクルポートセミナー開催について(12 月 5 日)
2. NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターメルマガ 11 月号のお知らせ

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 北九州港新門司沖 2 期処分場計画、環境アセス（最終）を公告縦覧
2. 自民党港湾議連が総会、29 年度予算の満額確保など緊急決議
3. 横浜市、国際競争力強化及び山下ふ頭の再開発等の事業費要望

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◇RPPC 事務局からのお知らせ

1. 平成 28 年度リサイクルポートセミナーの開催について

「平成 28 年度リサイクルポートセミナー」を開催致します。
詳細につきましては添付のプログラムをご覧ください。
皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

日時：平成 28 年 12 月 5 日（月）
講演会 14：00～17：00
交流会 17：10 頃～19：00 頃まで
会場：第一ホテル東京シーフォート

お申込みは、添付の「FAX 申込書兼参加証」に必要事項をご記入の上、FAX にて 11 月 25 日（金）までにお送りください。
よろしくお願い申し上げます。

2. NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターメルマガ 11 月号のお知らせ

NPO 法人庄内リサイクル産業情報センターより、メルマガ 11 月号が届きました。添付ファイルをご覧ください。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

◇リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 北九州港新門司沖 2 期処分場計画、環境アセス（最終）を公告縦覧

九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所が実施する北九州港新門司沖土砂処分場（Ⅱ期）公有水面埋立事業が始動する動きになって来た。環境大臣の助言なども加えた環境アセスの最終手続きとなる

補正評価書が整い、11月25日まで同評価書の公告・縦覧に入っている。北九州港湾・空港整備事務所は縦覧後、速やかに公有水面埋立承認願書を福岡県に提出し、承認を得る予定にしており、順調に進むと29年度半ばには現地着手が可能になる。

同Ⅱ期処分場は北九州空港に隣接する形に配置、埋立区域面積約250haを整備する。同処分場では約3200万立方mの浚渫土砂を受入れる施設になる。

施設の配置は空港と平行する長手方向の東護岸延長が約2750m、縦に延ばす南北の短護岸は約900m×2本で、護岸の総延長は約4450m。中仕切り護岸によって前期と後期の2期に分けて土砂の受入を行う。

工事工程は護岸工に概ね14年を予定。中仕切り護岸により事業着手後7年目頃（平成30年代半ば～後半）から土砂受入れを可能にする。全体の埋立工事期間は約12年間。

【港湾空港タイムス】

2. 自民党港湾議連が総会、29年度予算の満額確保など緊急決議

自由民主党の港湾議員連盟（望月義夫会長）は11月8日、党本部において総会を開催し、29年度港湾関係予算の満額確保等を通じた「港湾整備の推進に関する緊急決議」を満場一致で採択した。そして同決議を踏まえて同日、財務省主計局に予算確保に向けた要望活動を行った。

総会には国土交通省から根本幸典国土交通大臣政務官、藤井比早之国土交通大臣政務官、大野泰正国土交通大臣政務官、ならびに菊地身智雄港湾局長を初めとする港湾局幹部が出席。また関係団体として、川嶋康宏日港連会長（当時）、須野原豊日本港湾協会理事長、神出政巳港湾都市協議会副会長（海南市長）、川端芳文港湾運営会社連絡協議会（阪神国際港湾社長）、櫻井文男外貿埠頭連絡協議会会長（横浜埠頭社長）が参加した。

開会にあたって望月会長は、「安倍総理が言っておられる1億総活躍、経済効果を津々浦々に拡げる、という政策実現のためには港湾の役割が不可欠。港湾に大きなチャンスが巡って来ており、財務省にもしっかり予算を付けてもらわなければならない」などと挨拶した。

【港湾空港タイムス】

3. 横浜市、国際競争力強化及び山下ふ頭の再開発等の事業費要望

横浜市は「国の制度及び予算に関する提案・要望書」の中で、横浜港の国際競争力強化及び山下ふ頭の再開発等に向けた事業費の確保を挙げている。

「横浜港の国際競争力強化」では、①港湾運営会社である横浜川崎国際港湾（株）への支援、②戦略港湾施策の推進、など。

「山下ふ頭の再開発」では、①既存倉庫・上屋の移転・機能強化への支援、②臨港幹線道路の早期整備・基盤整備等への支援、など。

また、「市内公共事業建設発生土受入場所の確保（新本牧事業化）」も要望している。

【港湾空港タイムス】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司	新日鐵住金（株）
部会員：山崎 和宣	五洋建設（株）
木村 竜也	東京都
梅木 重光	（株）酒田港リサイクル産業センター
新谷 聡	りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、菖木

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

- 会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。
- メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。
- メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。

平成28年10月吉日

各位

リサイクルポート推進協議会（広報部会）

平成28年度 リサイクルポートセミナーのご案内

拝啓 時下ますます清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃、リサイクルポート推進協議会活動にご協力頂き、誠に有り難うございます。

本協議会で例年開催しております「リサイクルポートセミナー」について、本年度は平成28年12月5日（月）に開催する運びとなりました。

リサイクルポートセミナーは、事業者によるリサイクルポートの活用が進むよう、最新的话题をテーマに各方面から講師をお招きして開催しておりますが、今回は、使用済み電気・電子製品等の国内外の資源循環や有用金属の回収等の話題を取り上げて講演を企画しております。

また、平成28年4月に発生しました「熊本地震」について、被害状況や災害廃棄物対策等の講演も企画しております。

会員以外の方の参加も歓迎しておりますので、関係者お誘い合わせの上ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

また、講演終了後に懇親会も企画しておりますので、多くの方のご参加をお願い申し上げます。

敬 具

○参加ご希望の方は、別添の「FAX 申込書兼参加証」にご記入の上、ファクシミリでお送り下さい。

※当日は、「FAX 申込書兼参加証」をご持参の上受付にご提出下さい。

○締切：平成28年11月25日（金）

○問い合わせ先

リサイクルポート推進協議会事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団 内

（担当：本野、清水、菅木）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目1番10号

第2 虎の門電気ビルディング4階

TEL:03-5408-8296 FAX:03-5408-8741

平成28年度
リサイクルポートセミナープログラム（案）

講演会

開催日時：平成28年12月5日（月） 14:00～17:00
場 所：第一ホテル東京シーフォート 3階ハーバーサーカス

14:00 開会

来賓挨拶

14:05 基調講演

「使用済み家電製品等の国際循環の適正化について」（仮）

講師：国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 副センター長 寺園 淳

15:10 講演①

「環境省 リサイクル行政の動向」（仮）

講師：環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室

15:40 休憩

16:00 講演②

「使用済み電子部品等の輸入と金属回収（再資源化）について」（仮）

講師：エコシステムジャパン(株) リサイクル原料部 岡田侑季

16:30 講演③

「熊本地震の災害廃棄物対策について」（仮）

講師：環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

17:00 閉会

会員交流会

開催日時：平成28年12月5日（月）17:10頃～19:00頃（セミナー終了後）
場 所：第一ホテル東京シーフォート 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ
交流会参加費：3,000円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます

主 催：リサイクルポート推進協議会
後 援：(一社)日本経済団体連合会、国土交通省、経済産業省、環境省（予定）
協 賛：(一財)みなと総合研究財団（予定）

リサイクルポート推進協議会

平成28年度 リサイクルポートセミナー

開催日時：平成28年12月5日（月）

会 場：第一ホテル東京シーフォート

東京都品川区東品川 2-3-15

TEL：03-5460-4411

講演会 3階ハーバーサーカス 14：00～17：00

交流会 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ 17：10～19：00頃



- 東京モノレール「天王洲アイル駅」下車、中央口直結
- りんかい線「天王洲アイル駅」下車、出口Aより徒歩4分
- JR品川駅（港南口）より都営バスにて約5分
りんかい線「天王洲アイル駅行」バス・「天王洲アイル」下車

F A X 申 込 書 兼 参 加 証

(本状をセミナー当日、受付にご提出下さい)

送信先：リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人 みなと総合研究財団

菖木／清水／本野 宛

FAX (03) 5408-8741

平成28年度 リサイクルポートセミナー

日 時：平成28年12月5日(月) 14:00～

会 場：第一ホテル東京シーフォート

講演会 3階ハーバーサーカス

懇親会 28階 トップ・オブ・ザ・ベイ

●参加者等記載欄

リサイクルポート推進協議会のセミナーへの参加について、下記に必要事項をご記入の上、11月25日(金)までにFAXにてご返信下さるようお願いいたします。

なお、参加者名簿を作成しますので、所属・役職名等は詳細にご記入下さい。

※○を付けて下さい。

講演会	参加	不参加
交流会	参加	不参加
会員・非会員の別	会員	非会員
貴社・貴団体名		
ご所属・ご役職		
ふりがな ご出席者名		
ご住所	〒	
T E L	()
F A X	()
e-mail		

※複数名お申し込みの場合は、この用紙をコピーのうえ、お一人様1枚でお申し込み下さい。

※申込者多数の場合、1会員当たりの人数を制限させて頂く場合がありますのでご了承下さい。

※本申込書兼参加証にご記入頂いた個人情報は、厳正な管理のもとで安全に管理し、本セミナー実施に関する目的以外には使用いたしません。

※交流会参加費：3,000円/人 ※参加費は、当日会場受付にて申し受けます。

PORTTOWN MAGAZINE

<2016年11月号>

2016年11月15日配信

このたびの熊本県、大分県および、鳥取県を震源とする地震により
被害を受けられた皆さま、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます

みなさん、こんにちはメルマガ編集担当の齋藤です。今月も日本海側リサイクルポート、
能代港、酒田港、姫川港、境港、各港の最新情報を皆さんにお伝えしていきたいと思ひます。
それでは PORTTOWN MAGAZINE スタートです。

////// I N D E X //////////////////////////////////////

① 能代港ニュース

- ・東北電力、3代目「能代丸」が初入港。

② 酒田港ニュース

- ・第6回酒田港国際資源循環フォーラム開催。
- ・コンテナヤード、拡張完了し供用開始 取り扱い能力1.5倍に。

③ 姫川港ニュース

- ・ナイトジオラマはじめました！（ジオラマ鉄道模型ステーション）

④ 境港ニュース

- ・境港クルーズ船 過去最多、寄港33回4万人。

⑤ 編集後記

■ 能代港ニュース

○東北電力、3代目「能代丸」が初入港

東北電力が新造した石炭専用船「能代丸」が11月1日に能代港に初入港し、4日までの期間、能代火力発電所（秋田県能代市、120万キロワット）向けの燃料用石炭の荷揚げを行った。同船は「能代丸」として3代目。石炭輸送の安定性を目指して新造された。電力会社所有の石炭専用船が、同一船名で3代目になるのは日本で初。いずれも日本郵船が運航している。

初入港を祝って4日、能代火力発電所構内で記念式典が行われた。式典は東北電力や日本郵船の関係者をはじめ、能代市長も出席し、地元を挙げての歓迎ムードの中で行われた。

■ 酒田港ニュース

○第6回酒田港国際資源循環フォーラム開催

平成28年10月27日、酒田市内にて「第6回酒田港国際資源循環フォーラム」が開催されました。平成23年11月に酒田港がリサイクル貨物部門における日本海側拠点港に選定をされたことを受け、リサイクルポート間の情報交換と交流、循環資源のさらなる物流拡大、そして、対岸諸国との国際資源循環ネットワークの構築を目的としたフォーラムも第6回になりました。

今年度は、港湾の現場から鉄スクラップの世界・日本・東北の状況について(株)鉄リサイクリングリサーチ林社長、自動車リサイクル産業の現状と課題について(株)永田プロダクツ後藤係長から報告があり、続いて、東北大学劉教授のコーディネートで、「酒田港に循環資源を集約させるには」というテーマでの鼎談を行いました。参加者の反応も「港湾に関する情報や周辺企業の様子を知ることができ良かった」等、好評を得ました。

○コンテナヤード、拡張完了し供用開始 取り扱い能力1.5倍に。

平成28年11月1日、酒田北港緑地展望台にて、新しく整備されたコンテナヤードの安全祈願祭と竣工式が執り行われました。酒田港のコンテナ貨物量は平成27年、前年比1.6倍の22,028TEUと全国一の増加率で、この拡張工事は、コンテナ貨物量の急増に対応するために、新たに3.0haを整備したものです。この拡張工事にあたっては、林建設工業(株)様、酒井鈴木工業(株)様をはじめとした多くの方のご協力によって、無事に整備を進めることができました。今後は、国土交通省による岸壁の150m延伸をはじめとした高砂ふ頭の機能強化

を進め、より酒田港の利便性と安全性が向上するよう、環境を整備していく予定です。

■ 姫川港ニュース _____

○ナイトジオラマはじめました！（糸魚川ジオステーション ジオパル）

ナイトジオラマ始まりました！！
糸魚川ジオステーション ジオパル内のジオラマ鉄道模型ステーションでは、土日祝日の17時～18時の間、電気を落としてジオラマを走らせるナイトジオラマを始めました！
ジオラマの電灯や明かりだけで、電車が走ります。
いつもの違った雰囲気をお楽しみいただけます。

※糸魚川ジオステーション ジオパルとは

ジオパルは、家族で楽しめる糸魚川の情報発信基地です。平成27年の春、糸魚川駅のアルプス口にオープンしました。

館内は大きく「ジオパーク観光インフォメーションセンター」「キハ52待合室」「ジオラマ鉄道模型ステーション」の3つのコーナーに分かれています。

詳細はこちらで <http://www.geo-itoigawa.com/tourism/base/geopal.html>

■ 境港ニュース _____

○境港クルーズ船 過去最多、寄港33回4万人

鳥取県境港市昭和町の境港に2016年最後となるクルーズ客船の寄港が10月17日あった。16年の寄港は33回で15年の1.4倍に上り、乗客数は計約4万人と倍増し、いずれも過去最多。山陰両県を訪れる外国人観光客数の下支えに貢献した。

この日はクルーズ大手、ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社（米国）の「クァンタム・オブ・ザ・シーズ号」（16万8千トン）が入港。中国人客ら4800人が松江城（松江市）や出雲大社（出雲市）、とっとり花回廊（鳥取県南部町）などを巡り夕方、出港した。

■ 編集後記 _____

最後まで読んでいただきありがとうございます。

